

# 『財産収入』

「財産収入」は、町が所有する土地や建物を貸したり売ったりして得られるお金のことです。近年は不動産を集中的に売却したり、公共施設の屋根貸し事業を行ったりするなど活発に取り組んでいます。

今回は財産収入について、具体的な事例を交えてお伝えします。

## 財産収入の種類

財産収入は、大きく分けて財産運用収入と財産売却収入の二つがあります。

財産運用収入には、財産貸付収入や利子および配当金等があり、財産売却収入には、不動産売却収入や物品売却収入などがあります。

当町で毎年収入があるのは、財産貸付収入（土地建物貸付収入）、利子および配当金（財政調整基金預金利子）、不動産売却収入の三つです。

## 土地建物貸付収入

土地建物貸付収入は、文字通り土地や建物を貸し付けることで得られる収入です。

具体的には、葬祭センター用地や交番用地などで、令和2年度は28件569万円の収入がありました。



▲高瀬中学校に設置された太陽光パネル

近年の新しい取り組みとして、公共施設の屋根貸し事業があります。これは、再生可能エネルギーの普及拡大や行政財産の有効活用を図るため、町内5施設\*の屋根を太陽光発電事業者に貸し出す事業で、令和2年夏にスタートしました。

屋根貸しの期間は20年間で、発電事業者から年間約46万円の使用料が入るほか、固定資産税の収入もあります。年間発電量は約41万キロワット時で、一般家庭約95世帯分の年間電力消費量に相当します。

\*町内5施設：総合福祉センター、池田保育園、池田小学校、会染小学校、高瀬中学校

## 財政調整基金預金利子

財政調整基金の預金利子は、収入科目を設けて計上し、年度末に財政調整基金へ同額を積み立てています。令和2年度は10万2000円でした。

## 不動産売却収入

不動産売却の一例としては、赤線（地番のない道路）や青線（地番のない水路）などの法定外公共物をはじめ、町道改良工事や水路付け替え工事などで道路や水路としての機能を失った土地を、隣接者に売り払うことなどが挙げられます。

なお、利活用の見込みのない土地や建物は、近年公募による売却を積極的に行っています。（表1参照）

## 物品売却収入

昨年11月、町営バス明科線の車両更

新に伴い不要となった旧車両を官公庁オークションに出品しました。

最低入札価格16万円でスタートし、最終的には23万5000円で落札されました。

不要となった物でも現金化が見込める物は、今後も収入確保のため売却を進めていきます。

【表1】公募で売却した町有不動産

(単位:万円)

年度	売却町有不動産	売却価格
H29	旧会染小学校校長住宅（土地・建物）	650
	旧和合教職員住宅（土地・建物）計4棟	996
	旧池田交番跡地	1,007
	旧東町公民館跡地	155
	吾妻町ふれあいセンター隣接地	684
H30	旧豊町教職員住宅（土地・建物）	460
R2	旧豊町教職員住宅（土地・建物）	406
	合計	4,358

【問い合わせ先】企画政策課 財政係

TEL (62) 3129